

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2019年2月12日
野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
国立大学法人東京学芸大学
NPO 法人東京学芸大こども未来研究所

リリースカテゴリ

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護コース

社会課題

定期報告・レポート

宿泊体験やイベント開催など、スポーツを通じた新たな教育を産学連携でスタート！

東京学芸大学・東京学芸大こども未来研究所・野村不動産ライフ&スポーツが

「子どもの運動プログラムの効果」に関する共同研究 及び、「新たな教育プログラムの開発」契約を締結

スポーツクラブ「メガロス」を展開する野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（本社：東京都中野区／代表取締役社長：大橋 充／以下「野村不動産ライフ&スポーツ」）、国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市／学長：出口 利定／以下「東京学芸大学」）、NPO 法人東京学芸大こども未来研究所（所在地：東京都小金井市／理事長：鉄矢 悦朗／以下「東京学芸大こども未来研究所」）は、産学連携により、「子どもの運動プログラムの効果」に関する共同研究、及び「新たな教育プログラムの開発」に関する契約を締結しましたので、お知らせいたします。

◆東京学芸大学、東京学芸大こども未来研究所、野村不動産ライフ&スポーツが共同研究を実施

今日の教育を支える初等中等教育教員の養成や学校教育の研究を行う「東京学芸大学」と、東京学芸大学が持つ教育に関するノウハウを地域に還元していくことを目指した「東京学芸大こども未来研究所」、さらに、「ミライク」などの子ども向けプログラムを展開する「野村不動産ライフ&スポーツ」は、教育問題にこたえていくことを目的に、産学連携による共同研究を行うとともに、スポーツを通じた独自の教育プログラムの開発を目指します。

対象となるプレ・ゴールデンエイジ(※)の子どもにとっての運動プログラムの効果に関する共同研究や、創造的で協働的な問題解決能力を伸ばすプログラム開発、スポーツを通じた新たな教育プログラムの開発等、様々な事業の展開を目指し、協同して取り組んでまいります。また、研究や開発だけでなくとどまらず自然の中での宿泊体験を通して学ぶ教育パッケージや、室内で運動を行うイベントの展開、野村不動産ライフ&スポーツでは、メガロスにおける子ども向けプログラム「ミライク」への研究結果のフィードバックも検討してまいります。

※プレ・ゴールデンエイジ

3歳～8歳の、神経系が著しく発達する時期であり、遊びとして多様な運動・スポーツを経験することが基本的な運動動作の習得や、運動への好意的な態度形成に効果的な時期

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

◆注目が高まる社会教育

VUCA（Volatility 変動、Uncertainty 不確実、Complexity 複雑、Ambiguity 曖昧）という言葉で表されるように、現代、そしてこれからの社会経済環境は極めて予測困難な状況に直面していると言われています。そのような社会の中で人は、ますます創造的で協働的な問題解決を求められるようになり、未来を生きる子どもたちがそうした力を育んでいけるようにすることは、教育の大きな課題となっています。

運動遊びやスポーツには、仲間と夢中になって課題解決に取り組む体験が多分に含まれており、子どもたちは仲間と身体を動かし取り組む中で創造的で、協働的な問題解決力を育んでいくことができます。しかし、近年の子どもの運動や遊びをめぐる状況をみると、運動する子としない子の二極化が進んでいます。遊びの「三つの間」（時間・空間・仲間）の減少、勝利至上主義に基づく特定種目の技術指導偏重のスポーツ環境の肥大など、二極化が進んできた原因は様々指摘されていますが、すべての子どもたちが自分にあった運動遊びやスポーツを自ら創造し、楽しみ、さまざまな力を身につけていくことができるような機会の提供を作っています。

◆東京学芸大学について

幼稚園から博士課程までの教育組織を有し、東京都を中心とした広域に拠点を置きながら、今日の教育を支える初等中等教育教員の養成を行っています。初等ならびに中等教育諸学校に、将来のスクールリーダーたるべき教員を輩出するとともに、教員養成及び学校教育の研究に関する拠点として、学校教員の質の向上に貢献しています。創基は明治6年までさかのぼり、昭和24年にそれまでの東京府立の東京府師範学校や東京府女子師範学校から派生した4つの師範学校（東京第一師範学校・同女子部、東京第二師範学校・同女子部、東京第三師範学校、東京青年師範学校）を母体に統合してできた大学です。



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

◆東京学芸大子ども未来研究所について

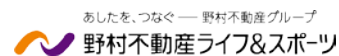
東京学芸大学の「知」である子どもに関わる「ヒト」「モノ」「コト」「コミュニケーション」を社会に発信する NPO 法人。教育に関するノウハウを地域に還元していくことを目指し、様々なニーズに合わせてカスタマイズし、提供しています。国立大学法人が持つ全国でも数少ない教育系 NPO として、東京学芸大学と連携をとりながら様々なプログラムの研究開発・運用普及に取り組んでいます。



特定非営利活動法人
東京学芸大子ども未来研究所
Tokyo Gakugei Univ. Children Institute for the Future

◆野村不動産ライフ&スポーツについて

スポーツクラブ「メガロス」の事業を通じて地域に住まう方々に健康であることの「喜び」「大切さ」をお伝えし、「健康」と「生きがい」創造に貢献することにより、お客様や社会と共に栄え、成長することを目指しています。「顧客満足を感動と喜びに変える」を企業理念に掲げ、全社員が一丸となってきめ細やかなサービスを最適なタイミングで提供し、お客様に満足を超えた「感動」や「喜び」をお届けしてまいります。近年では、運動能力の基礎が形成される 3～8 歳の子どもを対象とした、様々な動きを楽しみながら子どもの潜在能力を目覚めさせ、将来の可能性を無限に広げる『ミライク』体育スクールを運営しております。



あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ


野村不動産ライフ&スポーツ

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
経営企画室 TEL：03-5334-8600 /（担当：山崎・綿引・長部）

特別非営利活動法人 東京学芸大子ども未来研究所
Tel：042-312-4112 / Mail：nagaoka@u-gakugei.ac.jp（担当：高橋、長岡）

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ